

～浄水場施設を地域住民、地元中学校に公開～

平成23年6月15日～16日の2日間、釧路総合振興局農村振興課では、道営畑地帯総合整備事業で大別地区で整備した大別浄水場を地域住民（15日）、地元中学生（16日）に公開し、施設見学会を開催しました。

大別浄水場は、酪農の経営規模拡大に伴う水不足解消のため、安定した水量の供給に向けて整備。平成23年中に供用開始の予定で、既存の太田浄水場と区域を分割し給水することとなっています。

見学者は両日で41名の地元の人たちが参加し、担当者から浄水場のしくみや事業内容について説明をおこない、農業農村整備事業についての理解を深めてもらいました。

最後に参加者に既存の太田浄水場と新しい大別浄水場で処理した水を試飲してもらい、安全で安心な水の供給について確認しました。

今後もこのような農業農村整備事業についての広報活動を引き続き実施していこうと考えています。

【浄水場のしくみについての説明】



【電気設備関係の説明】



【配水ポンプの説明】



【浄水された水の試飲】

